

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	鶴岡市立湯野浜小学校
授業者	代表 佐藤 義則 他全教職員

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

津波情報伝達訓練

#### 1-2. 学年

全学年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

学校行事、学級活動

#### 1-4. 単元の概要

##### ○ 防災体制の充実（地震発生時の避難訓練の工夫と改善）

本校では、令和元年度より高台にある民間施設（自動車学校の宿泊所）への避難訓練及び保護者への時引き渡し訓練を実施している。訓練では20分ほどの間に保護者から引き取りをしていただくが、本当に地震が起きた時には長時間屋外の駐車場で待たなくてはいけないことや、保護者が徒歩で引き取りにくることが課題となっていた。

そこで、海拔17mにあるホテル宴会場を避難所として利用し、より実際に即した避難訓練を実施した。具体的には、高台の駐車場への一次避難完了後、ホテル2階の宴会場へ全員で移動し、そこでトイレの使い方や水と食料の備蓄資材を受け取り（避難所滞在）、保護者の迎えを待つ（引き渡し）という訓練を行った。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

実践的な避難訓練やより現実的な保護者への引き渡し訓練を実施することで、児童や教職員、保護者、地域の防災に対する意識の向上をめざす。

##### ○訓練の目的

- (1) 二次避難場所であるホテルの2階宴会場（避難所）へ迅速、安全に避難できるようにする。
- (2) 避難所の運営や生活について理解し、安全に過ごすこと（簡単な避難生活）ができるようにする。
- (3) 仮設トイレや備蓄された食料などの防災資材の確認をする。

#### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

##### 【知識・技能】

- (1) 地震の時の二次避難の仕方及び避難場所について知る。
- (2) 避難所の役割やルールについて知り、安全に過ごすことができる。
- (3) 避難所の仮設トイレや備蓄された食料について知る。

【思考力、判断力、表現力等】

- (1) 地域特有の災害リスクや日常生活の様々な場面で発生する災害の危険について考え、より安全な行動に比較、関連付けたりしながら課題解決に向けて考えている。
- (2) 地震発生時の二次避難に向けての適切な状況判断ができるようにする。

【学びに向かう力、人間性】

- (1) 避難上での生活は多くの制限やルールがあることを理解し、みんなの命を守るために、お互いに協力し合って課題解決に取り組もうとしている。
- (2) 避難者の命を守るために、備えられた備蓄資材や食料を分け合ったり譲り合ったりすることを進んで呼びかけようとしている。

1-7. 単元の展開（全3時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>1 地震に対する避難の仕方・主震中の行動・津波についての事前指導</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①実施期日・想定を予告しておく。</li> <li>②緊急放送が鳴ったら最後まで放送を聞く。</li> <li>③避難経路の確認 階段・廊下及び道路では「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」。(下学年優先)</li> <li>④外に出たら、列を乱さないで落ち着いて避難場所に集合する。路上は早足。歩く速さがゆっくりの場合、励ましの声をかけながら抜かしても良い。(特に上学年)</li> <li>⑤避難時の整列の仕方を事前指導しておく。(出席番号順)</li> <li>⑥訓練中はもちろん、話を聞く場面でも命にかかわる大切な学習であることを事前指導する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長講話による説明と学級での補足</li> <li>・指導のポイント <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 机の下にもぐったら、机の脚をつかむ。</li> <li>☆ 窓ガラスなどから離れてしゃがむ。</li> <li>☆ 揺れの中の対策「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」を指導する。近くに机がない場合は、上記の3点に気をつけてしゃがみ頭を守る。</li> <li>☆ 避難中は危険なものには手を触れない。</li> <li>☆ 足元に十分気をつける。</li> <li>☆ 避難の際は、教室で授業中は赤白帽子をかぶり、頭を守る。無ければ手近にある物(手ぬぐいやハンカチや本など。何も無ければ腕。)</li> </ul> </li> <li>・雨天時に備え、カッパの準備をする</li> </ul>
2 本 時	<p>2 津波情報伝達訓練</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地震発生時の一時避難</li> <li>②二次避難についての理解(避難所への避難)</li> <li>③避難所についての理解と生活の体験</li> <li>④引き渡し訓練</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定 7月1日午後2時00分、鶴岡市沿岸市町で震度7の地震を観測。市防災安全課の防災無線により高台への避難指示。(大津波警報が発令される。地震の影響で携帯電話が使えない。)</li> <li>・外部連携：山形大学村山先生、見守り隊、PTA 役員、湯野浜交番、消防湯野浜分署、湯野浜自治会、松波自治会、鶴岡市教育委員会</li> </ul>
3	<p>3 各学級での振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに記入する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの視点に沿って記入させる</li> </ul>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

地震の時の二次避難の仕方及び避難場所について理解し、その役割やルールについて知り、安全に過ごすことができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 本時のめあてを確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>地震の時の二次避難の仕方及び避難場所について理解し、その役割やルールについて知り、安全に過ごすことができる。</p> </div> <p>2 二次避難及び避難所体験 （津波情報伝達訓練後の流れ）</p> <p>（1）訓練終了のサイレン</p> <p>（2）14時25分二次避難指示発令</p> <p>（3）山本組資材置き場からテトラリゾート鶴岡に二次避難する。</p> <p>（4）14時40分 避難後、人数確認をして待機</p> <p>（5）教職員集合（打合せ）</p> <p>（6）避難所についての説明を聞く。</p> <p>（7）避難所での生活を体験する。</p> <p style="padding-left: 20px;">①仮設トイレの設営</p> <p style="padding-left: 20px;">②備蓄食料の配布</p> <p>（8）15時30分 避難解除</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校長先生の話（訓練の目的、時間など）</li> <li>・講評（村山教授より）</li> </ul> <p>（9）15時40分二次避難訓練終了</p>	<p>&lt;二次避難終了後&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○めあての確認をする</li> <li>○校長や担当からの指示を聞く</li>   <li>○避難所での役割を伝える</li> <li>・役割、ルール（総務）</li> <li>・区画割、過ごし方（環境）</li> <li>・トイレの使い方、具合が悪くなった児童の対応（保健衛生）</li> <li>・備蓄資材（食料物資）</li> <li>・保護者へ171発信（情報）</li> <li>・要配慮者への支援（保健衛生）</li> <li>■湯野浜地域の津波被害や2次避難の必要性について理解できたか（観察）</li> <li>・マンホールトイレにビニール袋をかぶせて実演する。汚物処理の仕方まで確認する。</li> <li>・水とビスケットの配布</li> <li style="padding-left: 20px;">※持ち帰れるようスーパーの袋に入れて渡す</li> <li>■避難所の役割や活の仕方、備蓄について理解できたか。（観察）</li> <li>・その後、引き渡し訓練へ。</li> </ul>

# 鶴岡市津波情報伝達訓練



7月1日午後2時、荷物を持って高台に避難



地震発生！落ち着いて

しっかり机につかまって



津波警報発令！避難開始

荷物を持って高台に避難



一次 山本組資材置き場

すぐにラジオで情報収集



一次 山本組資材置き場

余震発生！ダンゴムシのポーズ



二次 ホテルテトラリゾート鶴岡

余震が続く恐れあり、避難所へ



ホテルの宴会場を避難所として利用



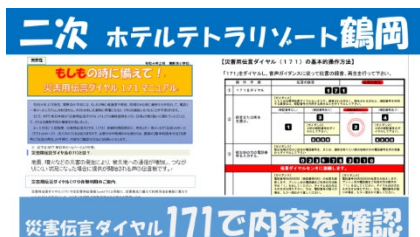
二次 ホテルテトラリゾート鶴岡

仮設 トイレの使い方を実演



二次 ホテルテトラリゾート鶴岡

ホテル内の備蓄食料を配布



二次 ホテルテトラリゾート鶴岡

災害伝言ダイヤル117で内容を確認



チェックリストによる第三者評価



村山先生、指導主事を交えてのふり返り

### 3. 今回の活動の自己評価

- 災害経験のない児童に対して防災を「自分事」できたことや、児童に「自分の命を守ることができる判断力と実践力」をつける経験を積ませることができた。あわせて、教職員に対する防災教育の意識化を図ることができた。
- 訓練当日は、より実際に即した訓練が真剣な態度でできた。また、避難所体験により、大災害発生時の避難のしかたや生活イメージをもつことができた。繰り返すことでさらなる意識の向上につなげられる。

### 4. 今後の課題

- 取り組みの充実にもなう教職員の負担増や活動時間の確保は大きな課題である。職員以外の人手や費用も掛かる避難所体験の訓練は3年に1回の実施にするなど、持続可能な防災・減災教育になるよう不断の改善が必要となる。
- 反省やふり返りの時間をきちんと行うことで、教職員との課題の共有と次回への引き継ぎが可能になるが、時間の確保と見届けが必要である。
- 携帯電話の常時携行については、市教委と協議をして湯野浜ルールの適用を認めてもらう必要がある。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- 海沿いに校舎がある学校で、地震の際に学校が避難所となりえないという限定された条件での事例となります。

※実施した单元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。